

## 指定管理者評価シート

事業名	札幌市社会自立センター管理業務	所管課(電話番号)	障がい保健福祉部障害福祉課 211-2938
-----	-----------------	-----------	------------------------

### I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市社会自立センター	所在地	札幌市東区伏古1条2丁目1番40号
開設時期	平成4年4月	延床面積	871.12㎡
目的	知的障がい者の社会参加を促進するため、生活指導、健康管理などに配慮した環境の下で労働する。		
事業概要	就労継続支援A型事業所		
主要施設	作業室2室、更衣室、休憩室、食堂、相談室、医務室		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人 札幌親会		
指定期間	令和5(2023年)4月1日～令和10(2028)年3月31日		
募集方法	非公募(理由)管理期間中の管理が良好に行われていると認められたことから、札幌市福祉施設条例第13条第2項の規定に基づき非公募とした。		
指定単位	施設数:1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、施設事業計画及び実務に関する業務、施設利用承認業務 等		
3 評価単位	施設数:1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

### II 令和5年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>さっぽろ障がい者プラン2018の基本理念に記載された共生社会の実現に向けて、「地域生活移行や就労支援などの課題に対応したサービス基盤の整備」及び「福祉施設から一般就労」に向けて、社会自立センターとして「生活支援、健康管理などに配慮した環境の下で就労の機会の提供を行うことにより、就労に必要な知識及び能力向上のための訓練、その他のサービスを適切かつ効果的に行い、社会自立を促進すること」を基本方針として策定した。</p> <p>○個別支援計画に基づき支援を行い、利用者の就労に必要な力を育てます。 ○利用者の仕事と生活を理解しバランスを保ちつつ、働きながら地域生活が継続され、または可能になるよう支援します。 ○仕事の理解・技術を高め、仕事を通じてひとりが充実感を持ち、自己実現が図られるように支援します。 ○職場が単に作業を提供するだけの場所にとどまらず、生活に張りりと豊かさを与える環境であり、生活の糧となるよう事業を展開します。</p>	<p>基本方針は、概ね実施できたと考えています。個々の意向や心身の状況に応じた労働時間や過大過ぎない目標を設定しました。また、SST技法を用いた研修会や企業見学会など、意思形成支援に努めました。研修は就労に関するだけでなく、コミュニケーションや金銭トラブル予防、利用者の権利擁護などを題材に、社会生活、地域生活がより安全で豊かなものになるような支援に努めました。</p>	<p>A B C D</p> <p>・基本方針に則り、適正に管理運営がなされている。</p>
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績		

	<p>就労継続支援という機能にとらわれず、職業体験の場として広く自立センターを活用していただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立センターのサービス利用を希望する方々が公平公正に支援を受けられるよう利用希望者への情報提供を行い、高等支援学校、就労移行支援事業所、他関係団体との連携を密に行っている。</li> <li>・近隣中学校の特別支援学級の生徒、高等支援学校の生徒の職場実習を積極的に受け入れ、本人が自身の適正(職業の)を見極める場としての提供もしている。</li> <li>・利用契約者以外の相談にも積極的に応じ関係機関との連携のもとご本人の希望に応じた情報の提供を行っている。</li> </ul> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー使用の合理化に関する法律を遵守し、社会自立センターにおけるエネルギーの使用を利用者の活動に支障をきたさない範囲で適切に管理し合理化を図ってきた。</li> <li>・エネルギー使用の大部分が洗濯業務における電力、重油であり機械の効率的な運転、日々のメンテナンスを心掛け、使用料の削減に努める。</li> </ul> <p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮命令系統の明確な組織体制のもと、業務分掌を行いそれぞれの部門に責任者を配置し管理運営に必要な体制を業務計画概要にて全体周知してきた。</li> <li>・職員配置は、基準より多く配置し手厚い支援を行える体制を作るとともに研修計画をもとに、障がい理解及び障がい者の就労に関わる研修に積極的に参加してきた。</li> <li>・資格取得に向けた取り組みを行う。</li> </ul>	<p>新型コロナウイルスによる自粛に影響が残っており、見学希望は多くはありませんでした。利用者欠員がある場合は、ハローワークを通じて求人し、3名の応募がありました。見学希望者には随時見学をしてもらうとともに、高等支援学校(あいの里・みなみの森)を訪問して情報提供を行いました。</p> <p>札幌市環境マネジメントに基づいた管理を行い、消灯、ゴミの減量等を実施しました。作業の合理化を図り、クリーニングの処理量を減らすことで、エネルギー使用を抑えました。</p> <p>責任者を定め、業務分掌により業務遂行に努めました。一人1研修を必須に外部研修参加を推進し、内部でフィードバックを行いました。事業運営に必要な資格講習の他、権利擁護虐待防止研修と国家資格取得を推進し、1名が介護福祉士資格を取得しました。</p>	
	<p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の障がい福祉施策と整合性を図り、安定かつ継続的なサービス提供に努める。</li> <li>・利用者のニーズ・障害特性に配慮し、アセスメントを行いそれをしっかりと個別支援計画に反映させ、日々の打ち合わせや職員会議、業務会議、図書館担当者会議を開催しきめ細やかな支援を行う。</li> <li>・事故防止においては、「ヒヤリ・ハット」報告、「事故報告書」を精査し事前の事故防止や職員の意識強化を図り、安全・安心な職場環境に努める。</li> <li>・利用者本人や保護者が気軽に相談できる体制を作り、課題解決に向けた相談援助を行う。</li> </ul>	<p>安定した事業運営とサービス提供に努めましたが、作業収益の改善が必要となっています。</p> <p>アセスメントや個別支援計画については意思決定を急ぐのではなく、意思形成に努めました。年度内に2件の交通事故がありましたが、命に別条なく、年末には2名とも復職しています。</p>	

	<p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <p>電気保安をはじめ機械整備に関わる分野について委託する。監督及び履行確認は徹底してきた。第三者に委託し承認されている管理業務は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①自家用電気工作物保安管理業務</li> <li>②機械警備(防犯警備、火災異常監視、設備異常監視)</li> <li>③ボイラー設備保守点検業務</li> <li>④消防用設備点検業務</li> <li>⑤地下油タンク及び埋設配管の漏洩点検業務</li> <li>⑥水質検査</li> <li>⑦水洗機、乾燥機点検</li> </ul>	<p>再委託の適正、確認に努めました。左の項目について契約を締結していません。</p>					
	<p>▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)</p> <table border="1" data-bbox="384 658 979 875"> <thead> <tr> <th>開催回</th> <th>協議・報告内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>R6/3/8開催 ・自立センターの現状と課題・展望について ・利用者アンケート結果について</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;協議会メンバー&gt;</p> <p>札幌市保健福祉局障がい福祉課運営指導係長・及び担当職員、札幌市立札幌小学校校長、社会福祉法人わらしべ会理事長、利用者代表、保護者代表1名、社会自立センター管理者、社会自立センターサービス管理責任者。 計8名</p> <p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の経理規程、事務規程の則った会計を行っている。</li> <li>・法人監事監査(年4回)の他、監査法人による予備監査を実施する。</li> </ul> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人苦情解決システムに関する規程に則り解決のための体制、方法を確立している。</li> <li>・家族、本人と面談し、要望や意見を聴取している。家族からは現状維持の希望が多かったが、利用者からは就労支援にかかる意思形成支援に着手する中で、一般就労希望も聞かれている。また、個別面談等を通じて、本人の心身の状況にあった働き方(労働時間・作業内容)を推進した。</li> </ul> <p>苦情内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい作業の準備で困っている。お知らせが遅い。→謝罪し、ご理解をいただいた。</li> <li>○通所交通費助成が振り込まれていない。→謝罪し、即座に対応している。</li> </ul>	開催回	協議・報告内容	第1回	R6/3/8開催 ・自立センターの現状と課題・展望について ・利用者アンケート結果について	<p>現状と課題またその打開策について説明し意見をいただいています。作業収入減や利用者の高齢化等課題は多く厳しいものですが、令和6年度も引き続き取り組むこととしました。</p> <p>利用者アンケートは具体的な質問に変更し、支援に役立つように実施しました。利用者からの満足度は良好と判断されました。</p> <p>監事監査では適切な処理をしていると評価されています。監査法人監査で指摘された事項は都度対応しています。</p> <p>苦情・意見箱を設置していますが意見はありませんでした。電話では同一のご家庭から2件の苦情が寄せられました。即時に対応しご納得いただいています。今後も、家族と本人の意向のすり合わせや現実とのすり合わせなど時間かけても解決に向けます。</p>	
開催回	協議・報告内容						
第1回	R6/3/8開催 ・自立センターの現状と課題・展望について ・利用者アンケート結果について						

	<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌市への月次報告等を定期的実施するとともに、依頼に応じて対応している。</li> <li>・年度当初に事業計画を配布し、事業所の目標、目的を説明し、定期的支援が目標に達しているかを評価している。</li> </ul>	<p>個別支援に対するモニタリング、計画の見直しを行っています。</p> <p>札幌市からの検査等については迅速に対応しました。</p>					
(2) 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>労働三法、その他関係法令を遵守し、監督官庁には必要な届出を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉事業を取り巻く環境の変化に対応すべく、福祉サービス提供者として職員ひとり一人が資質の向上を図りながら、法人事業全体のレベルアップを目指すことから人事考課制度を導入している。</li> <li>・利用者においては、法定福利(雇用保険、社会保険、厚生年金、退職共済)に加入している。</li> </ul>	<p>利用される方の労働環境を整え、関係法令を遵守して雇用するため、就業規則と賃金規程の改定を実施しました。</p> <p>職員は人事考課制度を利用し、自己研鑽をにより支援の質を高めるよう取り組みました。福利厚生は充実していますが、収益に不安がある為継続できるよう努めます。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				
(3) 施設・設備等の維持管理業務	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>職場の安全管理は、整理整頓、保護具の着用をはじめ徹底して行っている。保険関係は、建物火災保険。利用者については、施設賠償保険に加入し万が一の時に対応できる体制を整えている。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>施設及び設備全般の機能を良好に維持管理するとともに、施設の劣化等を早期に発見し、措置するため日常点検、定期点検、その他必要な保守点検業務を実施。屋上部分の定期点検、ルーフドレンの清掃、館内のワックスは確実に行っている。敷地内については利用者と職員で整備している。</p> <p>作業で使用する洗濯機と乾燥機の修理を行っているが、配電盤や蒸気ボイラーなどが突然故障することが多く、都度修理している。</p> <p>▽ 防災</p> <p>地震、火災、風水害の災害及び事故による傷病などが発生した場合に迅速かつ的確な対応ができるよう、防災計画を定め、防火管理者を中心に日頃から訓練を行い、利用者、職員などの安全確保を図ってきた。</p>	<p>建物や設備の維持は定期点検、清掃、修理により不具合は少なかったです。正面玄関自動ドアの修繕は既に札幌市に申請しております。維持管理は計画の通り実施できました。</p> <p>平成4年から使用している備品は経年劣化がみられ、時代に合わせたものに変更が必要となっています。次年度以降、自前での更改を計画します。</p> <p>防災訓練は年2回、災害訓練と併せて計画通りに実施しています。また非常災害対物資の更新も行っています。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				
(4) 事業の計画・実施業務	<p>▽ 職員に関する学習機会の提供業務</p> <p>質の高い就労支援の提供と安定した収入の確保、健康で豊かな生活を送るための地域支援活動を重点課題とし取り組んできた。令和5年度は権利擁護虐待防止にかかる研修を中心に外部研修に参加するとともに、資格取得の推進に努めた。</p>	<p>権利擁護・虐待防止研修を中心に常勤職員全員が外部研修に参加しました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・利用者個々人の適性に応じたきめ細かい配慮によりサービスが提供されている点は評価できる。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

	<p>▽ 障がい福祉施策に関する情報収集及び提供業務</p> <p>各学校、就労移行支援事業所、社会福祉協議会との連携により、実習の受け入れを行う。また、ハローワーク、高齢・障がい者雇用支援センターと密接な関係を保持し、諸手続き、就労斡旋など適切な支援業務も行っている。</p> <p>ホームページを利用し事業所の情報提供を行う。見学者の積極的な受け入れを行う。</p> <p>▽ 障がいに関する市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>社会福祉協議会からのボランティアや、学生のインターンシップの受け入れにより、地域、社会の障がい理解を推進する。</p> <p>地域貢献活動として近隣公園、道路の清掃活動に参加する。</p> <p>▽ 進路に関する相談業務</p> <p>利用者、またその家族との対話を通じて将来の生活や就職について把握し、必要に応じて相談支援事業所、他法人の就労移行支援事業所、障害者職業センターとの連携を図り、本人が希望する社会生活の実現を目指す。</p>	<p>社協が実施する資格取得のための現場実習を受け入れました。また職員採用や利用希望等の見学者は随時受け入れてきました。ホームページも随時更新しています。</p> <p>就労継続支援A型の特性上、ボランティアの活躍の場は準備できませんでした。インターンシップは法人で一括して実施していません。地域貢献として近隣の清掃活動や砂巻き運動等を実施しました。</p> <p>ほとんどの利用者が現状維持を希望していますが、徐々に一般就労希望社が増えています。意思形成支援の充実を進めます。</p>																													
(5)施設利用に関する業務	<p>▽ 利用件数等 (人)</p> <table border="1" data-bbox="384 1205 979 1464"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4年度実績</th> <th>R5年度計画</th> <th>R5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td>7,758</td> <td>8,100</td> <td>7,657</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>266</td> <td>270</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>人数/日</td> <td>29.2</td> <td>30</td> <td>28.4</td> </tr> <tr> <td>契約人数</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>31.5</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>97%</td> <td>100%</td> <td>95%</td> </tr> </tbody> </table>		R4年度実績	R5年度計画	R5年度実績	利用延べ人数	7,758	8,100	7,657	開所日数	266	270	270	人数/日	29.2	30	28.4	契約人数	30	31	31.5	利用率	97%	100%	95%	<p>年休の計画的な付与等により、利用率が落ちました。また習慣化された週末休日への拘りから、月から金曜日以外は出勤できない方が多く、10月までは利用率が上がリませんでした。</p>	<table border="1" data-bbox="1241 1122 1444 1160"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・基本方針に則り、適正に管理運営がなされている。</p> <p>・利用率は要求水準を10%以上超えており、高く評価できる。</p>	A	B	C	D
	R4年度実績	R5年度計画	R5年度実績																												
利用延べ人数	7,758	8,100	7,657																												
開所日数	266	270	270																												
人数/日	29.2	30	28.4																												
契約人数	30	31	31.5																												
利用率	97%	100%	95%																												
A	B	C	D																												
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの更新、東区社会福祉協議会登録など。JIS X8341-3:2016の適合レベルAAに準拠。</li> <li>・札幌会広報誌「それいゆ」・広報誌「ドリーム」の発行(各年3回)</li> </ul> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前回からの継続しての引き継ぎ業務はなし。</p>	<p>ホームページを更新して情報公開を推進し、広報を年3回発行しました。</p> <p>継続します</p>	<table border="1" data-bbox="1241 1514 1444 1552"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・各種広報媒体を利用した活動は評価できる。</p>	A	B	C	D																								
A	B	C	D																												
2 自主事業その他																															
	<p>▽ 自主事業</p> <p>該当なし。</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委託は、すべて札幌市内の業者。</li> <li>・事務用品及び消耗品も市内業者より購入している。</li> </ul>	<p>継続します</p> <p>継続します</p>	<table border="1" data-bbox="1241 1816 1444 1854"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>・適正に事業を実施している。</p>	A	B	C	D																								
A	B	C	D																												
3 利用者の満足度																															

▽ 利用者アンケートの結果			A	B	C	D
実施方法	・実施期間 令和6年1月22日～令和6年2月9日 ・対象者/回収率 利用者31名/100% ・調査方法 無記名の自計式アンケート	<p>昨年までのアンケートを、より具体的な質問に変更して実施しました。①から⑦まではサービスに対する具体的な希望を聞きました。⑧で総合的な満足度を聞いたところ83.3%の方から満足ないしはまあ満足の回答を得ています。⑨から⑪までは職員の接遇について聞いています。あいさつや丁寧な受け答えなどで高い評価をいただきました。⑫では接遇の総合的な満足度について聞き、90.3%の方から満足ないしはまあ満足の回答を得ています。アンケートを通じて、次年度のステップアップのための支援やレクリエーションについて検討することとしました。</p>	<p>・要求水準を上回る満足度であり、評価できる。</p>			
結果概要	<p>①作業日数・作業時間の希望「現状維持」78.1%「増やしたい」18.8%「減らしたい」3.1%</p> <p>②建物・設備が衛生的で整理されているか「衛生的で整理整頓されている」100%</p> <p>③今の仕事を続けたいか「続けたい」78.1%「今の仕事以外にしたい」12.5%「就労や別施設を考えている」9.4%</p> <p>④職員の支援は十分か「今の支援で十分」90.6%「もっと支援が必要」9.4%</p> <p>⑤勉強会や見学会に楽しく参加できているか「楽しいので増やしてほしい」75.0%「多く開催しないでほしい」15.6%「やめてほしい」9.4%</p> <p>⑥レクリエーションに参加したいか「参加したい」50%「内容を見て考える」28.1%「参加しない」28.1%</p> <p>⑦生活や家庭の相談がしやすいか「相談する」90.6%「相談しにくい」3.1%「相談しない」6.3%</p> <p>⑧センターの総合的な満足度「とても満足」「まあ満足」83.3%「普通」16.7%</p> <p>⑨職員が挨拶をしているか「いつも挨拶をしている」100%</p> <p>⑩職員が丁寧な言葉遣いをしているか「している」96.8%「時々乱れる」3.2%</p> <p>⑪職員は、話を聞いてくれるか。真剣に答えてくれるか「話を聞いて真剣に答えてくれる」96.8%「話を聞いてくれるが対応してくれない」3.2%</p> <p>⑫接遇の総合的な満足度「大変良かった」「まあ良かった」90.3%「普通」9.7%</p>					
4 収支状況						
▽ 収支 (千円)			A	B	C	D
項目	R5年度計画	R5年度決算	差(決算-計画)			
収入	127,824	128,528	704			
指定管理業務収入	64,009	63,869	▲ 140			
指定管理費	53,726	53,588	▲ 138			
利用料金			0			
その他	10,283	10,281	▲ 2			
就労支援事業収入	63,815	64,659	844			
支出	126,920	127,231	311			
指定管理業務支出	63,316	63,757	441			
就労支援事業支出	63,604	63,474	▲ 130			
収入-支出	904	1,297	393			
利益還元			0			
法人税等			0			
純利益	904	1,297	393			
▽ 説明						
<p>○概ね計画通りの収支状況となっている。</p> <p>○業者の見直しなどを実施したが、支出額が増額した。最低賃金上昇に伴う人件費の増額や物価高騰に伴う光熱水費、燃料費の増額等が主な要因となっている。</p>		<p>指定管理収支＝訓練等給付費は、定員30名の就労継続支援A型事業としては平均的な収入であると考えています。増額に向けてスコアの向上や、資格保有者の採用等が必要となっています。給付費は指定管理者のため減算となっています。就労支援事業収入は、クリーニング作業と清掃作業の合計額となっています。クリーニング作業については、資材の高騰、作業量の減産により、根本的な見直しを図らなければならぬ状況にあります。</p>		<p>・計画を上回る収益となっており、安定的な運営が図られている。</p> <p>・制度改革によるスコア対策やクリーニング事業の見直しによる就労支援事業収支向上対策など、新たな対応が求められる部分があるが、収支向上のため引き続き努力していただきたい。</p>		

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。						
<p>▽ 安定経営能力の維持</p> <p>○事業運営上は積立金を保っているが、拠点区分間繰入をすることができず、資金収支差額は資金上必要な額しかなかった。スコアや加算に留意した給付費の取得と、人件費の圧縮を進め、経営状況を安定化させたい。</p> <p>○就労支援会計においては、最賃の上昇、物価の高騰等による収益の減少がみられている。作業種の変更や、就労支援事業の確立が必要となっている。</p>	<p>経営上は安定しております。しかし、就労支援収支は抜本的に見直す必要があります。</p>	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">適</td> <td>不適</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・安定した運営を保持している。</td> </tr> </table>	適	不適	・安定した運営を保持している。	
適	不適					
・安定した運営を保持している。						
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>個人情報保護等については法令、条例を遵守しています。札幌市暴力団の排除の推進に関する条例を周知して対応している。各条例の規定により、適切に対応した。協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。</p>	<p>法改正等に準じて規程化するなどの対応に努めます。</p>	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">適</td> <td>不適</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・各条例を順守し、適正に対応している。</td> </tr> </table>	適	不適	・各条例を順守し、適正に対応している。	
適	不適					
・各条例を順守し、適正に対応している。						

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p><b>1. A型スコアでの高評価に取り組む。</b></p> <p>10月に就業規則と給与規程を改正し、心身の状況に応じた労働時間を選択できるようにした。職員への登用やスキルアップに向けた取り組みを盛り込み、就労支援の一環としての機能も強化している。</p> <p><b>2. 新型コロナウイルス感染症の五類移行に伴い、社会経済の活性化が予想される。収支に見合う作業種となるよう単価交渉、経費削減、作業種の開拓を行う。</b></p> <p>収支の合わないクリーニング作業について単価交渉を実施したが、収支の改善には至らなかった。清掃作業に集約し、クリーニング事業は縮小している。</p> <p><b>3. 利用される方が将来の選択肢を広げられるよう、体験の機会を設け、個々の移行に沿った将来に向けて支援する。</b></p> <p>意思形成支援に力を入れ、ステップアップを利用者に提示している。変わらず現状維持を希望される方もいるが、職場見学や研修会を通じて就労意欲の向上が見られた。</p> <p><b>4. 一般就労を希望する利用者に、就労に必要な知識と技術の向上に向けた支援を提供する。必要な関係機関との連携を図り、長く定着できるように支援する。</b></p> <p>当初は全員が現状維持の希望したが、取り組みの中でチャレンジの希望があり、個別支援計画を変更して取り組みを始めた。次年度4月に1名の一般就労が予定されている。フォローアップ体制を構築するため、ハローワーク、グループホーム、企業と連携を図る。</p> <p><b>5. アセスメント、モニタリング、個別支援計画を策定し、家族、本人の意向、希望に沿った支援を提供する。</b></p> <p>本人の意思決定を尊重して策定した。ステップアップにより小さな目標を設定することで、徐々に労働時間や社会生活等に対する希望が聞かれるようになった。今後は家族と本人との以降のすり合わせが重要となっている。</p>	<p><b>1. 一般就労フォローアップ体制の構築</b></p> <p>1年に1名以上の一般就労移行を目指す。一般就労者の定着を念頭に生活支援者や企業と連携を図る。</p> <p><b>2. クリーニング作業からの撤退</b></p> <p>クリーニング作業は収支の改善が望めないと判断し、現契約を解除する。</p> <p><b>3. 賃金向上</b></p> <p>計画に則り、賃金の向上を目指す。</p> <p><b>4. 既存設備を活用した新規作業の開発</b></p> <p>大型洗濯機等を活用した就労事業に着手する。</p> <p><b>5. 支援技術の向上</b></p> <p>福祉系国家資格や作業に必要な技術系資格試験受験を推進する。</p> <p><b>6. 意思決定支援の推進</b></p> <p>前年度に引き続き、SST技法を取り入れた研修会や社会参加に資する利用者向け講習会を開催する。</p> <p><b>7. 実習・見学者受け入れの推進</b></p> <p>高等支援学校を中心に、積極的に受け入れを公表する。また、福祉人材確保・育成や地域に開かれた福祉サービス事業者を目指し、見学者を広く受け入れる。</p> <p><b>8. 館内整備・備品更新</b></p> <p>建物の老朽化が進み、床、壁、備品に痛みが出ている。衛生的な環境を目指し、見学者が来てもらっても恥ずかしくないように整備する。</p>

<p>6. 福祉人材の確保と育成のため、大学、短大、専門学校からの実習、インターンシップを積極的に受け入れた。採用後はメンターエルダー制度を活用して定着化を図り、研修の機会を設ける。 社協主催の資格取得のための現場実習2名を引き受けている。採用は法人一括で行っている。当年度新採用職員の配置は無かった。</p> <p>7. 労働基準監督署の定める減免申請に取り組み、一人でも多くの利用者が最低賃金以上で雇用されることを目指す。 作業意欲の向上により、多くの利用者の減免額が向上した。最賃に至った利用者もおり、改善されている。</p> <p>8. 新型コロナが五類に移行したが、感染症のリスクは変わらず高い。館内の環境衛生や日常的な衛生管理を徹底し、感染者が出ないように努める。 年内でコロナ感染者はいたが、自立センター内では感染拡大せずに終息している。</p> <p>9. 行事の希望が多いが、A型事業所としては、安定した賃金の保障や利用者の社会参加にむけて支援を行う。行事、社会参加の訓練、社会見学、地域貢献で行事を構成し、楽しみながら学ぶ機会を設ける。 年度当初に参加者を募ってレクリエーションを実施したが、7名しか参加がなかった。アンケートの結果からも、行事やレクの希望は多くなく、次年度は縮小する。</p>	
---	--

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>新規業務の開拓や作業環境の改善を図りながら安定した利用者数と高い利用率を保持しており、工賃の向上に努めていることは高く評価できる。 また、個々の特性に応じたきめの細かい支援は評価できる。</p>	<p>引き続き、作業環境の改善を図りながら従業員の処遇向上に努めてもらいたい。また、利用者の社会参加の機会や、実習の受入などを積極的に行ってほしい。</p>